

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 胆振管内 白老町立虎杖小学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、ウポポイを全校で見学するとともに、しらおいイオル事務所「チキサニ」の学芸員を外部講師として招聘し、講話や古式舞踊等を通して、アイヌの人たちの歴史や文化について探究的に学習しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

社会科や総合的な学習の時間等での学習を通して、先住民族であるアイヌの人たちの歴史や文化に興味・関心をもたせ、「アイヌの人たちの歴史・文化について、調べまとめる。」という課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

課題解決に向けて、アイヌ文化体験及びウポポイの見学を行いました。アイヌ文化体験として、しらおいイオル事務所「チキサニ」の学芸員を招聘し、古式舞踊をはじめとした体験学習を行いました。アイヌの人たちが行ってきた古式舞踊「イオマンテリムセ」を実際に踊ってみることや「カムイ」の考え方を学芸員から聞くことなどを通して、アイヌの人たちの考え方にふれることができました。また、2020年以降、毎年、全校で「ウポポイ」を活用し、体験学習を行っています。古式舞踊を見たあと、チセや史料展示を見学したり、アイヌの人たちの歴史についての講義を聞いたりして情報を収集しました。



【古式舞踊体験の様子】

##### (3) 整理・分析

調べた内容を整理・分析することを通して、アイヌの人たちにとっての踊る目的や考え方の多様性について気付くことができました。

##### (4) まとめ・表現

学習の成果を文書編集ソフトを用いて、個人でレポートを作成するとともに、実践発表を行い、アイヌの人たちの歴史・文化についてさらに理解を深めました。



【ウポポイ見学】

#### ②児童の感想等

- ・古式舞踊のかけ声や踊りにとても興味をもちました。
- ・「イオマンテリムセ」は、位の高い熊を神の世に送り出す儀式と知り、とても驚きました。

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートで、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がありますか」の問いに対して、肯定的回答の割合が91%から100%へ増加しました。また、同アンケートで、「アイヌの人たちの歴史や文化について、もっと調べたい」と回答した児童の割合が73%から82%へ増加するなど、ふるさとの歴史や文化について興味を深めるとともに、ふるさとを大切にしていこうという心を育むことができました。
- コロナ禍ということもあり、同アンケートの「今、住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が82%から45%へ減少しており、学校と地域との関わり方を再構築する必要があります。